



令和7年度 岩手県立一関清明支援学校 《概要》



せいメェくん

R7.5.1 現在

学 校 名	岩手県立一関清明支援学校	校長名	外 館 梯 (とだて やすし)							
校 訓	清く 明るく たくましく									
教育目標	○自分のよさに気づき、自己実現のための向上心を持ちつづける人 ○ほかの人を思いやるやさしい気持ちをもつ人 ○心と身体の健康を大切にする人									
学 校 の 特 色	○さまざまな教育の場を有する学校（2校舎 3分教室） ○さまざまな障がいのある幼児児童生徒が学ぶ学校（4障がい<聴覚・病弱・肢体・知的>）									
研究主題	○「一人一人の豊かな学びにつながる授業実践」									
所 在 地	○本 校 舎：〒021-0041 一関市赤荻字上台96番5(TEL 0191-33-1600) ○山 目 校 舎：〒021-0056 一関市山目字泥田山下48番地12(TEL 0191-25-3210) ○あすなろ分教室： 同 上 (TEL 0191-25-3294) ○千厩分教室小学部：〒029-0803 一関市千厩町千厩字上駒場10-2(TEL 0191-53-2275) 一関市立千厩小学校内 ○千厩分教室中学部：〒029-0803 一関市千厩町千厩字上駒場195-5(TEL 0191-53-3181) 一関市立千厩中学校内									
沿 革	○平成20年4月1日 岩手県立一関聾学校と岩手県立一関養護学校が統合。岩手県立一関清明支援学校 開校 ○平成21年4月1日 千厩分教室中学部を千厩中学校内に開設（千厩分教室小学部は平成19年開室） ○平成24年2月18日 本校舎を萩荘高梨から赤荻上台（現在地）に移転 ○平成24年3月28日 山目校舎のうち、中学部、高等部を本校舎に移転 ○平成24年4月1日 本校舎高等部に、知的障がい部門を開設 ○平成31年4月1日 山目校舎に、中学部病弱・肢体不自由学級を開設 千厩分教室小学部に病弱・肢体不自由学級開設9									
設置形態	○「聴覚障がい（聴）」「病弱・肢体不自由（病・肢）」「知的障がい（知）」の4障がい種に対応 ■本 校 舎：幼稚部（聴）、小学部（聴、病・肢）、中学部（聴、病・肢、知）、高等部（病・肢、知） ■山目校舎：小学部（病・肢、知） ■あすなろ分教室：小学部～高等部（病・肢） ■千厩分教室小学部（知、病・肢） ■千厩分教室中学部（知・肢）									
幼児児童生徒の在籍状況	校舎・分教室		障がい種		幼児児童生徒の在籍数					
					幼	小	中	高	小計	合計
	1	本校舎	聴覚障がい		/	1	4	/	5	92
			病弱・肢体不自由		/	/	7	11	18	
			知的障がい		/	/	22	47	69	
	2	山目校舎	病弱・肢体不自由		/	9	/	/	9	32
			知的障がい		/	23	/	/	23	
	3	あすなろ分教室	病・肢(重度重複)		/	/	6	4	10	10
	4	千厩分教室(小)	知的障がい		/	9	/	/	9	11
			病・肢(訪問含)		/	2	/	/	2	
5	千厩分教室(中)	知的障がい		/	/	8	/	8	9	
		病弱・肢体不自由		/	/	1	/	1		
計				0	44	48	62		154	
* 児童生徒の出身地域：一関市136名、平泉町5名、奥州市6名、金ヶ崎町1名、宮城県6名										

教育課程等	<p><本校舎> 【聴覚障がい部門、病弱・肢体不自由部門の教育課程】 ○ 幼稚園、小学校、中学校、高等学校等の普通教育に準ずる教育課程 ○ 幼児・児童・生徒の実態に合わせ「自立活動」のほか、「産業社会と人間」等の学校設定教科も設定 【知的障がい部門、重複障がい部門の教育課程】 ○ 特別支援学校学習指導要領に基づいた各教科等を合わせた指導（「日常生活の指導」、「生活単元学習」、「作業学習」等）や「自立活動」の指導等とおし、働く力や生活する力を育成</p> <p><山目校舎、あすなろ分教室、千厩分教室> 【知的障がい部門、重複障がい部門の教育課程】 ○ 特別支援学校学習指導要領に基づき、各教科等を合わせた指導（「日常生活の指導」、「生活単元学習」、「作業学習」等）や「自立活動」の指導等とおし、働く力や生活する力を育成。</p>
-------	--

進路状況	中 学 部						高 等 部					
	卒業生 (人)	進学	就職	福祉的 就労	施設 入所	その他 在宅等	卒業生 (人)	進学	就職	福祉的 就労	施設 入所	その他 在宅等
	R4	16	16				19		8	10	1	
	R5	13	13				23	1	7	8	5	2
	R6	13	12			1	13			9	3	1

(令和7年5月現在)

職員数	校長	副校長	指導教諭	教諭	養護教諭	実習教諭	講師	実習助手	栄養教諭	非常勤講師	事務長	主任査査	主任	主任	主任	事務職員補助	運転技士	主任介助員	非常勤介助員	非常勤介助員	非常勤介助員	非常勤介助員	非常勤介助員	小計	薬学 医学 歯学 校科 等	合計
	計	1	4	2	88	3	1	14	1	1	4	1	0	3	1	2	3	2	3	9	4	148	6	154		

学校経営の方針と重点	<p>「学び」「つながり」「ひろがり」 (学校運営のテーマ)</p> <p>学校での「学び」が確かな基礎学力として身につけ、生活の場で生かされ、学校生活から地域での生活へと「つながり」、さらに充実した生涯教育へと「ひろがり」、社会の一員として豊かな生活が実現していくことをめざします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 授業の最適化の追求 <ul style="list-style-type: none"> ●個性や能力を生かし、一人一人の着実な成長を後押しできる授業づくりを進めます。 進路指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ●作業学習・校内現場実習・福祉サービス体験の充実や進路研修会等の充実をとおして、学部・学年に対応した進路学習（キャリア教育）と、中学部・高等部生徒の希望進路の達成に取り組みます。 連携と協働の強化 <ul style="list-style-type: none"> ●家庭や地域へ情報を発信します。支援学校として地域教育機関への支援を行います。コミュニティー・スクール等を通じ地域資源の活用を図ります。地元企業との協働活動の充実を図ります。 安全・安心な環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ●お互いを認め、尊重し、学び合う意識を育成し、安全・安心な教育環境の整備を行います。復興教育・防災教育の充実を進めます。福祉避難所指定に向けた準備に取り組みます。 児童生徒の人権を尊重した適切な指導支援 <ul style="list-style-type: none"> ●すべての教職員が子どもの権利条約や法令等への理解を進め、児童生徒の思いや生活年齢を考慮した望ましく、適切な指導支援に取り組みます。
------------	---